

科目コード	記号	科目名		
2501	BS15	OA演習 I : Seminar in OA I		
教員名	松野成悟 : MATSUNO Seigo, 二木映子 : NIKI Eiko			
学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	単位種別
3B	1・90分	必修	演習・前期	履修単位
授業概要	表計算ソフトは、パソコン上で表形式のデータをあつかうもので、集計や分析、要約、表現、データベースとの連携など、さまざまな応用が可能である。本演習では、表計算ソフトの一つであるExcelを用いて、表計算ソフトの基本的なしくみと操作技術について学習する。具体的には、データや計算式の入力、各種関数の利用などの方法について説明する。また、具体的な経済・経営データを用いて、データの加工や表現技術に関する実践的な理解を深めていきたい。			
到達目標		評価方法		
(1)表計算ソフトExcelの機能と利用方法について説明できる。 (2)さまざまなデータを表形式で表現し、適切に集計や分析などを行うことができる。 (3)意思決定支援を目的とした経済・経営データの加工ができる。		評価方法および配分は、①定期試験(40%)、②レポート(60%)とする。		
学習・教育目標	(B)	JABEE基準1(1)		
前 期				
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	表計算ソフトの基礎①	表計算ソフトの概念としくみについて説明する。	
	第2	表計算ソフトの基礎②	表計算ソフトExcelの全体的な仕様と代表的な機能について説明する。	
	第3	関数の利用①	数学関数および統計関数について説明する。	
	第4	関数の利用②	論理関数および検索・行列関数について説明する。	
	第5	関数の利用③	財務関数および文字列操作関数について説明する。	
	第6	関数の利用④	複数の条件式の利用について、関数のネスト構造を中心に説明する。	
	第7	グラフ機能①	棒グラフや円グラフなど各種グラフの作成と編集方法について説明する。	
	第8	グラフ機能②	折れ線グラフや散布図など各種グラフの作成と編集方法について説明する。	
	第9	データベース機能①	データベース機能の概略およびデータの検索や抽出方法について説明する。	
	第10	データベース機能②	ピボットテーブルについて、その機能や利用方法を説明する。	
	第11	データベース機能③	データベース関数の利用方法について説明する。	
	第12	経済・経営データの分析と活用①	経済・経営データの収集と集計方法について説明する。	
	第13	経済・経営データの分析と活用②	データの標準化や要約技法について、度数分布や相関分析などを中心に説明する。	
	第14	経済・経営データの分析と活用③	財務・会計データにもとづき、損益分岐点分析や複利計算、シミュレーションなどについて説明する。	
第15	まとめ	本演習内容のまとめを行う。また、授業評価アンケートを実施し、理解度や目標到達度を確認する。		
関連科目	基礎情報処理論			
教科書	しっかり学ぶExcel標準テキスト(稲葉久男, 技術評論社)			
参考書	Excelによる経営データの分析と活用(寺島和夫ほか, 同文館出版)			
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。			
副担当教員				
備考	配布プリントによる説明を適宜加える。			